

みんなの想い、市政に反映—伝えてつなく、明るい社会

西宮市議会だより



発行：西宮市議会 編集：広報委員会 〒662-8567 西宮市六湛寺町10番3号 ☎(0798)35-3377



「夙川に泳ぐ」 撮影：前田 正樹さん（甲子園町在住）
 昨年8月～9月に募集した作品の中から広報委員会において、上の作品が選ばれました。

3月定例会

第115号

目次

- 代表質問 2～3
- 各委員会の活動状況 3
- 一般質問 4～7
- 請願 7
- 3月定例会 主な審議日程 7
- 議案等審議結果一覧表 8
- 6月定例会 開催日程（予定）など 8

3月定例会の主な内容

△代表質問▽
 ▽市長と教育委員会委員長が平成25年度西宮市行政方針および教育委員会行政方針を表明しました。これらに対して、議会の会派代表者から代表質問が行われました。代表質問の一部については、2面、3面に掲載しています。
 ≪市長提出議案≫
 平成25年度当初予算 カッコ内は前年度比
 ▽一般会計 1609億4101万円（0・8%増）
 ▽特別会計 810億5928万円（2・1%増）
 ▽企業会計 419億4921万円（7・4%減）
 一般会計予算は、前年度に比して、民間保育所運営補助等事業、学校施設空調設備整備事業などが増額になる一方、西部総合処理センター基幹設備更新事業、特別養護老人ホーム整備事業などが減額になり、総額として0・8%の増額となっています。

△条例▽
 ▽ごみ収集などを行う衛生作業員、学校給食などを行う調理員、用務員などの技能労務職員の給与水準引き下げを伴う西宮市技能労務職員の給与の種類及び基準に関する条例案を可決しました。
 ▽学校給食費の公会計化に伴い、給食用食材を安定して確保することを目的とした基金を設置することを主な内容とする、西宮市学校給食費基金条例案を可決しました。
 ≪議員提出議案≫
 △条例
 ▽特別委員会委員の在任期間、並びに常任委員会委員の選任に関する規定を定めることを主な内容とする、西宮市議会委員会条例の一部を改正する条例案を可決しました。
 意見書の提出
 ▽慢性疲労症候群患者の支援を求める意見書を内閣総理大臣、厚生労働大臣などに提出しました。

紙面中の一部の会派名は、略称で掲載しています。
 公明党…公明党議員団、政新会…政新会、蒼士会…蒼士会、市民ク改革…市民クラブ改革、
 日本共産党…日本共産党西宮市会議員団、むの会…むの会

代表質問 要旨

質問順に掲載しています

2月28日、3月1日の2日間にわたり、行政方針の25年度西宮市行政方針の紙面から、代表委員が読み取りました。質問した議員が作成しています。

移転整備後の新病院 救急医療の強化を

(むの会) 嶋田 克興

問 市立中央病院の新病院基本計画(中間報告)での救急医療の施策は公立病院としては不十分だ。小児二次救急の強化についてどの様に考えているのか。

答 新病院では小児救急を重点施策とし、開院時には小児二次救急の夜間輪番日を少なくとも週3日(1日増)として、阪神南医療圏(西宮・尼崎・芦屋)の輪番体制の確立に貢献したい。

JRR西宮名塩駅のバリアフリー化は

(むの会) 嶋田 克興

問 JRR西宮名塩駅構内のバリアフリー化の実施を今まで主張してきたが、25年度の予算に

エレベーターの整備が提案され、26年度に工事の着工が予定されている。計画概要を示せ。

答 駅前広場と改札口を結ぶ屋外階段に隣接する鉄道用地にエレベーターを設置し、駅前広場と改札口及び地上の一般車ポートアリーを連絡する計画である。

牛肉輸入規制緩和と BSE検査の今後は

(市民ク改革) 岩下 彰

問 牛肉輸入規制緩和が始まり、BSEの検査対象月齢が4月から変わる。安全・安心なまちづくりの取り組みとして、本市の全頭検査の実績と今後は。

答 全頭検査開始以来、結果はすべて陰性であった。今後も全国の食肉衛生検査所では全頭検査をする方向で、本市でも継続の予定だ。また、さらなる月齢緩和の答申が予定されているため、国や他の自治体の動向を見て改めて方針を決定する。

バルイベント 今後の取り組みは

(市民ク改革) 岩下 彰

問 西宮の魅力の再発見として「バル」がとりあげられているが、将来へ向けてはどうか。

答 経済効果の高い活性化策

アサヒビール西宮工場跡地の活用は

(政新会) 大石 伸雄

問 行政方針で「未来につながる投資」と言われているが、未来を担う子どもたちに希望を

与える夢のある西宮市を描けているのかという視点で、アサヒビール跡地一括購入と六湛寺公共施設群の遷都計画について検討の余地があるのか。

答 遷都計画は一つの提案と受けとめ、工場跡地全体のまちづくりについては、議会での議論も踏まえ、未来の西宮に生きる人たちに引き継ぎ、喜んでもらえるように取り組む。

学校運営の地域連携 現在の進捗状況は

(政新会) 大石 伸雄

問 国の方針である「新しい公共」型学校創造事業の内、学校運営の連携への進捗状況は。

答 各学校では、教育活動の方針や計画などの情報を教育連携協議会などに公開し、保護者

や地域の方に、当事者として教育活動に参画してもらっている。



生活保護 今後の対応は

(日本共産党) 野口あけみ

問 生活保護引下げ計画は最低生活を保障する憲法25条に反し、撤回されるべきだ。就学奨励金は保護基準が支給の目安だが、保護引下げで不支給世帯が出ないようすべきかどうか。

答 政府はできる限り影響が及ばないよう対応することを基本的な考え方としており、本市では25年度は従来どおりの基準所得で審査し、26年度以降は国や他市の対応を参考に検討する。

扶助費の伸び率 3%では不十分では

(日本共産党) 野口あけみ

問 二〇一四年度から五年間の市計画で、暮らしや福祉のサービスに直接かかわる扶助費の伸びを3%しか見込んでいない

のは不十分だと考えるがどうか。

答 社会保障と税の一体改革の中で各制度の見直しが検討されており予測が難しいが、他市の例や財務省の歳出歳入への影響試算を参考に判断した。

新病院 移転整備の判断は

(公明党) 山田ますと

問 新病院の開院は28年度を目標にしているが、目標は、収益の向上におくべきだ。土地の取得と病院の移転は分けて考えるべきだ。この点への答えは。

答 中央病院の建物は老朽化に加えて耐震化が必要となっており、そのために移転整備の準備を進めている。用地取得に併せて事業が推進できるように経営改善に取り組んでいく。

第四次総合計画の 中間見直しについて

(公明党) 山田ますと

問 第四次総合計画の中間見直しで、アサヒビール西宮工場跡地のように当初計画にない事業が出た場合、その事業が、当初事業と比較して優先される根拠は何か。

答 社会情勢の変化や新たな行政課題に対応するため、見直

しなどを行うこととし、事業化に向けた進捗状況や緊急性を勘案しながら、総合的に検討した。

**中央病院の黒字経営
困難な場合の対応は**
(蒼士会) 今村 岳司

問 市立中央病院の新しい給与水準を決めた後、黒字経営が困難になった場合、どのような対応をとることになるのか。

答 原因を分析し、対応策を講じる。経営形態を地方公営企業法の全部適用に移行した後は、外部委員による評価委員会を設置し、その評価に基づき経営方針の変更や経営改革を検討する。

**市の責任で
防潮堤の高上げを**
(蒼士会) 今村 岳司

問 津波浸水想定区域図において、防潮水門をすべて閉めても防潮堤の高さが足りないために浸水する区域には八千棟の住宅と四万七千人の住民がいる。市の責任で、防潮堤の高上げの工事を行うべきではないか。

答 県のシミュレーション結果による越流区間や浸水区域と整備計画を精査し、市民の生命と財産を守る立場から県と協議しハード対策の手法を検討する。

定例会…3月定例会中の活動内容

閉会中…12月定例会閉会後から3月定例会開会前までの活動内容

各委員会の活動状況

総務常任委員会	定例会	予 算	平成24年度西宮市一般会計補正予算（第6号） 予算案件1件
		条 例	西宮市一般職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定 など条例案件7件
		そ の 他	議案1件
閉会中	所管事務調査	第4次総合計画・中間見直しにおける事業計画の概要について	
市民文教常任委員会	定例会	予 算	平成24年度西宮市一般会計補正予算（第6号） など予算案件2件
		条 例	西宮市暴力団の排除の推進に関する条例の制定 など条例案件4件
		そ の 他	議案6件、請願3件（取り下げ1件含む）
	所管事務調査	「西宮市における文化財の保存と活用に関する総合的な計画（素案）」のパブリックコメントの実施について など5件	
閉会中	所管事務調査	施策研究テーマ「通学路の安全対策について」 など4件	
厚生常任委員会	定例会	予 算	平成24年度西宮市一般会計補正予算（第6号） など予算案件2件
		条 例	地域社会における共生の実現に向けて新たな障害保健福祉施策を講ずるための関係法律の整備に関する法律の一部の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定 など条例案件2件
		そ の 他	議案2件、請願1件
	所管事務調査	軽費老人ホームの施設廃止に伴う今後の施設整備について など3件	
建設常任委員会	定例会	予 算	平成24年度西宮市一般会計補正予算（第5号） など予算案件6件
		条 例	西宮市手数料条例の一部を改正する条例の制定 条例案件1件
		そ の 他	議案5件、陳情1件
	閉会中	所管事務調査	工事請負契約締結について など3件
特別委員会 予算	定例会	予 算	平成25年度各会計予算 16件 (各予算案は、5つの分科会に分けて審査)
		条 例	西宮市立中央病院看護師修学資金貸与条例の制定 条例案件1件
特別委員会 病院問題	定例会	協議事項	中間報告の取りまとめについて
		閉会中	協議事項
特別委員会 議会改革	定例会	協議事項	政務活動費に関する事項、議会基本条例、議会役職、議会事務局の強化、中間報告の取りまとめ などについて
		閉会中	協議事項

一般質問 要旨

質問順に掲載しています

3月定例会では16人の議員が3月4、5、6、7日の4日間にわたり、質問を行いました。紙面の都合から、一部を要旨で掲載します。
※「問」の部分は、質問した議員が作成しています。

兵庫ゆずりあい 駐車場制度について

(政新会) 川村よしと

問 車椅子で利用できる幅の広い障害者等用駐車スペースの不適正使用などの解決策として、平成24年4月から本制度が県内で実施されている。しかし、市役所に利用証の交付窓口がないこと、市内の公共施設や民間施設に本制度の駐車スペースが不足していること等が原因で、制度が十分に機能していないと考えられる。今後の市の対応は。

答 本制度は障害のある人などの社会参加を進めるために有意義であることから、窓口を設置している他市町を参考に、窓口の設置を検討する。また、市役所前公共駐車場など市の関連

施設の駐車場は、所管が多岐にわたるため、駐車場の管理者に文書での登録勧奨に加え個別訪問も積極的に行い、周知や登録の勧奨に努める。さらに、県と共に民間施設へも行き、制度の趣旨や市内の登録状況を説明し登録勧奨など、協力を求める。



兵庫ゆずりあい駐車場

津波被害に備え 護岸の改修を

(蒼士会) 草加 智清

問 武庫川を遡上する津波から、市民の生命や財産を守る為に、武庫川の土の手が始まる小松南町からJR神戸線までの間をコンクリートのブロック張りに変えるべきではないか。

答 県の条例で護岸改修は、管理者である県が実施すると明示されている。本市は県に対し必要に応じた堤防補強の実施を要望し、市の責務として流域対策、減災対策を着実に進める。

小松育成センター 新たな施設の概要は

(蒼士会) 草加 智清

問 利用児童数の増加から、小松留守家庭児童育成センターの施設整備を訴え、第2センターの予算が計上されたが、その施設概要や建築スケジュールは。

答 約100㎡の平屋建て、定員40名、最大受け入れ人数は60名程度で、多目的トイレも設置予定である。10月以降に着工し、年度内の完成を考えている。



阪急武庫川新駅設置 尼崎市との協議は

(政新会) 坂上 明

問 新駅が設置されると、本市よりむしろ尼崎市が恩恵を被ると言う事だが、その尼崎市が消極的と聞く。新駅設置に向けての尼崎市との今後の協議は。

答 両市域にまたがる駅の設置が地域の交通便利性を向上させるとともに、両市の均衡ある発展につながることから、引き続き尼崎市に新駅設置に関する検討会への参加を求めていく。

経常収支比率 改善への手段は

(政新会) 坂上 明

問 河野市長が、先の市長選挙で公約として「経常収支比率を80%、行政の健全経営」を挙げられたが、依然その改善がみられない。80%に向けての具体的手段を聞きたい。

答 数値目標の達成には相当の期間を要することも考えられるが、人件費などの内部管理経費の節減や公債費負担の抑制などにより早期改善に努める。

体験学習の 積極的な推進を

(無所属) 谷本 豊

問 子どもたちの心豊かな感性を育む芸術等の体験授業を市内の学校に積極的に取り入れ推進していくのがぞましいと考ええるが教育委員会の考えは。

答 伝統文化の体験学習は現在の学習指導要領で大切にしており、今後もさまざまな教科や行事、活動を通して伝統や文化に関する教育を充実させる。

若年層の就労支援 施策の充実を

(市民ク改革) 花岡ゆたか

問 若年層・子育て世代では

非正規雇用の割合が高い。二十代・三十代・四十代こそ、しっかり働いて、しっかり納税して、しっかり年金を納めなければならない。若年層の雇用に関する市の対応は。

答 25年度から若年者等就労支援事業の拡充、若年者キャリア形成支援事業を実施する。また、本市を拠点とする地域若者サポートステーション事業の実施を、国に提案している。

通路橋の不適正使用 市の対応は

(市民ク改革) 花岡ゆたか

問 市内に多数ある水路上の通路橋には、不適正な使用ものが多数存在している。市はどう対応するのか。

答 不正使用の是正に向け、パトロールや啓発ビラの配布、面談に取り組んでいる。今後は、広報活動に加え、効果的な指導や罰則規定の研究を進める。

ワンストップ窓口 これまでとの違いは

(公明党) 山口 英治

問 行政方針の中で、ワンストップ窓口の機能強化とフロア改修による利便性の向上とあるが、どのようなサービス向上を

お考えか。

答 フロアは大きく4つに区分され、新たに市民部総合コーナーを設置し、各課の職員を交代で配置することで機能強化を図り、住民・戸籍異動に伴う手続を可能な限り完結させる。また、それ以外の手続も窓口を1カ所に集中することで手続時間の短縮を図る。

肺炎球菌ワクチン

高齢者へ公費助成を

(公明党) 山口 英治

問 高齢者肺炎球菌ワクチンの接種費用の助成についてどのように実施するお考えか。

答 25年度から肺炎により重症化や死亡に至る危険性の高い基礎疾患を持つ人を対象に助成事業を行い、定期接種化の早期実現を引き続き国に働きかける。

賃金の引き上げ

市長の見解は

(日本共産党) 杉山たかのり

問 アベノミクスは、賃金は上から物価だけが上がり、消費税増税が襲いかかる。デフレ不況の打開の決め手は「賃金を引き上げる」ことではないか。市長の見解を聞く。

答 企業は、経営者側と労働

者で成り立ち、活動の中で得られた収益は適正に配分されるべきである。従業員の所得の上昇により個人消費が伸び、経済に好循環をもたらすと考えている。

浜甲子園団地周辺

歩道の改修を

(日本共産党) 杉山たかのり

問 浜甲子園団地周辺の歩道は「メタセコイヤ」等の街路樹の根上りで段差があり危険だ。樹木を保全し景観を守ることを優先し歩道改修をすべきでは。

答 樹木の根を切断し舗装するだけでは、倒木の危険もあるため、樹木医などの意見も聞き対応策を検討し、安全で安心な歩行空間の確保に努める。



浜甲子園団地周辺の歩道

ごみの資源化推進に

常設型の拠点回収を

(無所属) たかはし倫恵

問 高齢化が進む中、ごみの持ち去り、複数回の収集などル

ールが分かりにくく、資源化が進まない。市民がいつでも分別して出せる常設型の拠点回収ルートに、公共施設を活用しては。



中央病院

整備方法の検討を

(無所属) たかはし倫恵

問 市立若屋病院や県立西宮病院は現地建替を行った。本市も古い基礎資料に抛らない「耐震改修及び全面改修案」や「現地建替案」を作成し検討しては。

答 現在地での建て替えや改修は、工事期間中の患者への影響や診療機能の縮小に伴う収益の減少などが避けられない。現在地は利便性の問題も指摘されており、移転・新築の方針を変更することは考えていない。

暴力団排除への参画

市民の安全は

(政新会) 吉岡 政和

問 暴力団の排除の推進に関

する条例制定について、主旨は理解出来るが運用にあたり警察の恣意に委ねる事や市民等に協働という役割を課して暴排運動に参画させる事に安全上の不安が問題になるが、運用にあたっての当局の考えを示せ。

答 市民などが危害を受ける危険性が生じた場合、即時所轄の警察署に通報し保護を要請する。運用については他市の状況も参考に庁内検討会議で協議し、県などとも連携しつつ検討する。

コミュニティ交通

社会実験の概要は

(政新会) 吉岡 政和

問 生瀬地区で行われるコミュニティ交通の社会実験について明らかにされたい。

答 地元の組織が運行計画の策定、自ら実施することを条件に試験運行の経費を補助する。その結果、持続可能性が高い場合、本格運行を検討する。

丸山ダム・金仙寺湖

水質への影響は

(蒼士会) かみたに幸彦

問 丸山ダム・金仙寺湖の水質について、交通量の増加や周辺のゴルフ場などの影響に懸念を持っている。側溝のない県道

からの雨水排水が、直接船坂川に流入する影響はどうか。

答 雨水が直接流入しているのに加えて、近年、交通量も増加し、排気ガスやタイヤの磨耗に伴う粉じんが及ぼす丸山ダムへの影響が懸念されているが、現時点では、丸山浄水場の水質の悪化の傾向はない。



丸山浄水場

消防団員に貸与する

被服の経費は

(蒼士会) かみたに幸彦

問 西宮市消防団員として新規に入団するにあたり、はつぴ、長靴などを貸与しなければならぬが、一人当たりの費用は。

答 出初め式などの式典で着用する制服、制帽、火災現場や訓練で着用する夏・冬の活動服、作業帽、長靴、安全靴、防寒服など18品目で約9万円である。(一般質問は6、7面にも掲載)

一般質問(続き)
**地域主権改革一括法
 関連条例について**
 (市民ク改革) 田中 良平

問 地域主権改革一括法によって多くの基準を条例によって定めることになった。地域特性・市民ニーズにこたえ西宮の特色を出せるような独自基準を追求していくつもりがあるのか。

答 一括法の趣旨を生かして施策を実施し、本市の独自性を生み出すことは大切であると認識している。今後、各所管部局で条例の点検を行い、本市の特性を踏まえた制度や基準を反映できないか、研究する。



**本庁舎・市民会館の
 建て替えは**
 (市民ク改革) 田中 良平

問 本庁舎・市民会館共に築40数年経過している。建て替えのリミットや全体計画はいつまでにもたなくてはならないのか。

答 本庁舎は約30年後に、市

民会館は約25年後に建て替えると想定すると、建て替え時期の約10年前までには全体計画を策定する必要があると考えている。

**自転車の
 交通安全対策は**
 (むの会) 西田いさお

問 通学路等の安全対策が速やかに講じられているが、通学路の事故は、殆どが運転者の交通違反に起因し、運転者のモラルの向上を図る必要があると思う。また、自転車は死亡事故につながることもあるが、対策は。

答 悪質な運転者などへは警察の街頭指導、取り締まりの強化を要請し、警察や関係機関などと連携し、交通ルールやマナー向上の広報啓発活動に努める。



**学校支援
 新しい対応策は**
 (むの会) 西田いさお

問 最近では、モンスターパーレント、いじめ、体罰等保護者への複雑化した対応が求めら

れているが対応策はあるのか。

答 必要に応じて指導主事を学校に派遣し、退職校長が学校運営などの相談に応じる体制を構築している。25年度からは、学校問題解決支援チームを設置し、支援体制をより強化する。

**DV予防教育
 教員への研修計画は**
 (むの会) 長谷川久美子

問 生徒たちがDVについて等しく啓発を受けるには、教育委員会事務局主導で進めるのが望ましい。そのため教員への啓発も急がれるが、研修計画は。

答 今後、デートDVの予防教育やセクシュアルマイノリティーについて理解を深める教師用指導資料を作成し、教員への啓発、研修を行い、学校におけるDV予防教育の充実を図る。

**男性職員の育児参加
 市の取り組みは**
 (むの会) 長谷川久美子

問 国は、公務員男性の育児休業取得率を2020年までに13%とする目標を挙げているが、市はどのように取り組むか。

答 本市での男性職員の育児休業取得率は低い水準であり、さらなる取り組みが必要である

と考える。今後も研修などにより、男性職員の育児に対する意識啓発に努め、育児休業取得へも意を用いて取り組む。



**西宮版「子育て
 コンシェルジュ」を**
 (公明党) 竹尾ともえ

問 地域子ども・子育て支援事業として、個々のニーズや状況に合った保育サービスの情報提供や相談機能を持たせた西宮版「子育てコンシェルジュ」設置について市の考えはどうか。

答 本市の取り組みを生かし、育児負担の軽減や地域での子育て力の向上を目指して、情報共有とニーズに合った適切なサービス提供ができるよう、子育て支援に係る総合的なコンシェルジュ機能について研究していく。

**軽・中度難聴児へ
 助成の拡充を**
 (公明党) 竹尾ともえ

問 今まで重度の難聴児のみであった補聴器購入費の助成を

軽・中度難聴児へも拡充すべきと考えるが、市の考えはどうか。

答 県から25年度から新規事業として軽・中度難聴児の補聴器購入費用の一部を助成すると通知があった。内容の詳細について、現在、県に照会している。



**保育ルーム事業の
 抜本改善を**
 (日本共産党) 上田さち子

問 西宮市は、低年齢児の保育所待機児解消に向け、民間施設借上げ等で、一施設・五人の乳幼児を預かる「保育ルーム」を急速に整備している。この際「保育ルーム」運営者と市との契約を見直し、運営の在り方を改善すべきだがどうか。

答 国のガイドラインでは、受託契約ということも書かれているので、今後はこういったことも研究し、改善をしていきたい。

**保育ルームから
 認可保育所へ進級を**
 (日本共産党) 上田さち子

問 「保育ルーム」を卒園す

る児童が、引き続き認可保育所に進級できる制度への考えは。

答 保育の継続が大切であると認識しており、認可保育所の入所選考時に加点を行ってきた。今後、全体のバランスを考慮しながら、選考基準についての検討を行う。



災害時の避難

東西交通との関係は

(公明党) 松山かつのり

問 津波避難訓練において、

南から北へ避難する際、信号や鉄道の遮断機が下りていたため、足止めされた。災害時での対応や東西の交通との関係をどのようにお考えか。

答 停電による信号機の機能停止、車の渋滞と多数の避難者による輻輳などが想定される。阪神地域広域避難計画研究会などで協議しながら、安全で円滑な避難の方策を検討し、適切な

避難の実現に万全を期す。

火葬場の受け付け

24時間体制に

(公明党) 松山かつのり

問 火葬場の受け付けを、西

宮市は朝9時から17時30分しか受け付けを行っておらず、他市では24時間行っているところもあり、取り入れるべきでは。

答 火葬場の受け付け時間の拡大は、市民サービスの向上につながるため、近隣市の状況なども踏まえ、検討を行う。

請願

【採択】

○乾杯は西宮市の日本酒で行うことを促進する条例の制定を求める請願

【みなし採択】※

○慢性疲労症候群患者の支援を求める意見書の提出に関する請願

※「みなし採択」とは、同じ趣旨の意見書案が可決されたため、「採択」とみなされたものです。

【不採択】

○国の責任による少人数学級の前進を求める意見書の提出に関する請願

議会情報のご案内

■市議会ホームページ

<http://www.nishi.or.jp/homepage/shigikai/>

市議会の概要や、各種名簿、会議の予定などのほか、本会議の「会議録」や委員会・協議等の場の「記録」も閲覧することができます。

西宮市議会

で検索

クリック



3月定例会 主な審議日程

2月	22日(金)	本会議 行政方針の表明、提案説明など 建設常任委員会
	25日(月)	議会改革特別委員会
	28日(木)	本会議 代表質問(3人)
3月	1日(金)	本会議 代表質問(3人)
	4日(月)～6日(水)	本会議 一般質問(計15人)
	7日(木)	本会議 一般質問(1人) 質疑、委員会付託、包括外部監査人の説明など 予算特別委員会(全体会)
	11日(月)	常任委員会 (総務・市民文教・厚生・建設)
	12日(火)	市民文教常任委員会
	13日(水)	病院問題特別委員会
	14日(木)	予算特別委員会 (総務・市民文教・厚生・建設分科会)
	15日(金)	予算特別委員会 (総務・市民文教・厚生・建設分科会) 議会改革特別委員会
	18日(月)	予算特別委員会 (総務・市民文教・厚生・建設分科会)
	19日(火)	予算特別委員会(市民文教分科会)
	21日(木)	予算特別委員会(病院問題分科会)
25日(月)	予算特別委員会(全体会) 常任委員会(総務・市民文教・厚生) 本会議 委員長報告、討論、採決など	

本会議の詳しい発言は、6月初旬には図書館・支所・公民館でご覧になれます。

平成25年 3月定例会

議案等審議結果一覧表 会派別

(○賛成、×反対)

Table with columns for decision results (採決結果) and party names (会派名). Rows include budget items (算入), regulations (条例), general cases (一般案件), and council proposals (議員提出議案).

採決結果の○は、提出された議案などに対して全会一致または賛成多数で可決したことを示しています。なお、人事案件の場合は同意または可決したことを示しています。

※議案等に対する各議員の採決態度については、市議会ホームページでご覧になれます。

6月定例会開催日程(予定) table showing dates from July 8th to June 14th with meeting types like '予備日', '本会議', and '本会議 提案説明'.

議会運営委員の 辞任・選任
平成25年4月12日付で今村岳司議員(蒼士会)から議会運営委員の辞任願が提出され、新たに木村嘉三郎議員(蒼士会)が選任されました。

6月定例会で審査する請願・陳情提出の締め切り(予定)は、6月25日(火)午後5時までです。

問い合わせ先：議会事務局 議事調査課 (0798) 35-3380